令和２年度　指定管理者モニタリング評価シート

施設名称	松原市文化会館
所在地	松原市田井城１丁目３番11号
事業内容 （設置目的）	市民の芸術・文化の普及及び振興と市民生活の向上を図り、併せて集会等の用に供することを目的とする。
所管部課	市民協働部　いきがい学習課
指定管理期間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
指定管理者	一般財団法人　松原市文化情報振興事業団
指定管理料	１２４，６３９，０００円（３施設合計）

評価項目	評価の基準	評価	
		指定管理者	担当課
市民の利便性向上について	市民へ平等利用の確保が行われたか。	A	A
	個人情報保護のための措置は適切に行われたか。	A	A
	苦情への対応及び防止策は適切に行われたか。	A	B
	利用者ニーズの把握に努め、サービス向上の取組が行われたか。	B	B
	施設の利用率（利用者数・稼働率）は昨年度と比べ上昇したか。	B	B
適正な施設管理運営について	施設、設備の保守・点検は適切に行われたか。	A	B
	備品の管理は適切に行われたか。	A	B
	職員の人員配置は適切に行われたか。	A	B
	職員の指導育成、研修体制は十分にされたか。	B	B
	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制が十分であったか。	A	B
	管理運営経費縮減への取組の方策は適切に行われたか。	A	B
	自主事業について創意工夫がなされているか。	B	B
指定管理者の経理について	収支計画と収支実績に乖離はなかったか。	A	B
	経営状況は良好であるか。（貸借対照表等による）	A	B

〈評価〉　A：優れている　　B：問題ない　　C:改善を要する又は改善を指示

評価コメント

【市民の利便性向上について】
・市民への平等利用の確保については現状において情報発信の方法を工夫し、施設の周知を進められたい。
・個人情報保護のための措置については、団体の方針及び、市条例に沿って取り扱っているほか、臨時職員等への指示も行っており、引き続き個人情報の保護の徹底に努められたい。
・苦情が発生しないように事前に十分打合せをするなど、トラブル防止に努めている。引き続き利用者に十分説明を行い防止対策に努められたい。
・ニーズ調査に係るアンケート調査の分析についても、次回に活用できるように努められたい。
・施設利用については、コロナ禍で休館や事業中止、居室利用人数制限もあり利用者数、稼働率が大幅に下降している。新しい取り組みとして配信事業も開始しているので次年度も新しい発想で企画していただきたい。

【適正な施設管理運営について】
・施設、設備の保守点検等については問題なく実施されている。
・備品の管理においては、管理台帳等は整備し、機器のメンテナンスにより、施設維持の向上に取り組んでいる。引き続き予防保全に努められたい。
・職員の研修についても、様々な分野の研修に参加させ、スキルアップに積極的であると見受けられる。
・周辺施設維持管理において、施設周辺の点検について怠らない様に努めていただきたい。又、緊急時のマニュアル等も整備されており、引き続き訓練等の実施等を行い緊急時は円滑に対応できるよう努められたい。
・自主事業について、施設の目的に沿った事業を展開しており、近隣他館での実施状況を調査し、他館で実施していない講演を実施し、より多くの参加者を募るための工夫は講じている。引き続き、近隣他市との情報交換も行い、市民ニーズに沿った事業展開を進められたい。

【指定管理者の経理について】
・コロナ禍で事業が開催できなかったが、自主事業は黒字である。今後の運用経費を蓄えることも重要であるが、市民に還元できる事業展開を期待する。

令和２年度　指定管理者モニタリング評価シート

施設名称	松原市民ふるさとぴあプラザ
所在地	松原市上田７丁目11番19号
事業内容 （設置目的）	郷土資料、美術映像、書誌及び文化学習に係る情報の提供を行い、並びにこれらの情報交換の場及び発表の場を提供し、もって市民文化の創造と振興に寄与することを目的とする。
所管部課	市民協働部　いきがい学習課
指定管理期間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
指定管理者	一般財団法人　松原市文化情報振興事業団
指定管理料	１２４，６３９，０００円（３施設合計）

評価項目	評価の基準	評価	
		指定管理者	担当課
市民の利便性向上について	市民へ平等利用の確保が行われたか。	A	A
	個人情報保護のための措置は適切に行われたか。	A	A
	苦情への対応及び防止策は適切に行われたか。	B	B
	利用者ニーズの把握に努め、サービス向上の取組が行われたか。	B	B
	施設の利用率（利用者数・稼働率）は昨年度と比べ上昇したか。	A	B
適正な施設管理運営について	施設、設備の保守・点検は適切に行われたか。	A	B
	備品の管理は適切に行われたか。	A	B
	職員の人員配置は適切に行われたか。	A	B
	職員の指導育成、研修体制は十分にされたか。	B	B
	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制が十分であったか。	A	B
	管理運営経費縮減への取組の方策は適切に行われたか。	A	B
	自主事業について創意工夫がなされているか。	B	B
指定管理者の経理について	収支計画と収支実績に乖離はなかったか。	A	B
	経営状況は良好であるか。（貸借対照表等による）	A	B

〈評価〉　A：優れている　　B：問題ない　　C:改善を要する又は改善を指示

評価コメント

【市民の利便性向上について】
・市民への平等利用の確保については現状において十分取り組まれているが、引き続き情報発信の方法を工夫し、施設の周知を進められたい。
・個人情報保護のための措置については、団体の方針及び市条例に沿って取り扱っている。引き続き個人情報の保護の徹底に努められたい。
・苦情が発生しないように事前に十分打合せをするなど、トラブル防止に努めており、苦情が発生した場合は業務改善を行っている。引き続き業務改善に努められたい。
・ニーズ調査に係るアンケート調査の分析についても引き続き行い、ニーズの把握に努められたい。
・施設利用については、コロナ禍で休館や居室の利用制限などで利用人数、稼働率ともに大幅に減少している。施設の場所は利便性もいいことから配信事業など、新たな取り組みを考慮し、安全な施設運営管理と工夫を講じられるようにしていただきたい。

【適正な施設管理運営について】
・施設、設備の保守等については問題なく実施されていると認められる。
・備品の管理においては、管理台帳等は整備し、機器のメンテナンスにより、施設維持の向上に取り組んでいる。引き続き予防保全に努められたい。
・職員の研修についても、様々な分野の研修に参加させ、スキルアップに積極的であると見受けられる。引き続き努められたい。
・緊急時の対応についてはマニュアル等も整備されており、引き続き訓練等の実施等を行い緊急時の場合の円滑な対応に努められたい。
・学芸員を活用された事業の質の向上を図るとともに、ロビーの有効活用など市民と協働した取組を進めている。引き続き、市民に開かれた施設として歴史文化事業の推進に努められたい。

【指定管理者の経理について】
・コロナ禍で事業が開催できなかったが、自主事業は黒字である。今後の運用経費を蓄えることも重要であるが、市民に還元できる事業展開を期待する。

令和２年度　指定管理者モニタリング評価シート

施設名称	松原情報文化アメニティセンター「ゆめニティプラザ」
所在地	松原市上田３丁目６番１号
事業内容 （設置目的）	地域コミュニティの育成に寄与し、市民文化の向上及び振興を図ることを目的とする。
所管部課	市民協働部　いきがい学習課
指定管理期間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
指定管理者	一般財団法人　松原市文化情報振興事業団
指定管理料	１２４，６３９，０００円（３施設合計）

評価項目	評価の基準	評価	
		指定管理者	担当課
市民の利便性向上について	市民へ平等利用の確保が行われたか。	A	A
	個人情報保護のための措置は適切に行われたか。	A	A
	苦情への対応及び防止策は適切に行われたか。	A	B
	利用者ニーズの把握に努め、サービス向上の取組が行われたか。	B	B
	施設の利用率（利用者数・稼働率）は昨年度と比べ上昇したか。	B	B
適正な施設管理運営について	施設、設備の保守・点検は適切に行われたか。	A	B
	備品の管理は適切に行われたか。	A	B
	職員の人員配置は適切に行われたか。	A	B
	職員の指導育成、研修体制は十分にされたか。	B	B
	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制が十分であったか。	A	B
	管理運営経費縮減への取組の方策は適切に行われたか。	A	B
	自主事業について創意工夫がなされているか。	B	B
指定管理者の経理について	収支計画と収支実績に乖離はなかったか。	A	B
	経営状況は良好であるか。（貸借対照表等による）	A	B

〈評価〉　A：優れている　　B：問題ない　　C:改善を要する又は改善を指示

評価コメント

【市民の利便性向上について】
・市民への平等利用の確保については現状において十分取り組まれている。引き続き情報発信の方法を工夫し、施設の周知を進められたい。
・個人情報保護のための措置については、団体の方針及び市条例に沿って取り扱っているほか、臨時職員等への指示も行っている。引き続き個人情報の保護の徹底に努められたい。
・苦情が発生しないように事前に十分打合せをするなど、トラブル防止に努めている。苦情が発生した場合は業務改善を行っている。引き続き業務改善に努められたい。
・ニーズ調査に係るアンケート調査の分析についても、引き続き行い、よりニーズの把握に努められたい。
・施設利用については、コロナ禍で休館や居室の利用制限などで利用人数、稼働率ともに大幅に減少している。施設の場所は利便性もいいことから配信事業など、新たな取り組みを工夫し、安全な施設運営管理と工夫を講じられるようにしていただきたい。

【適正な施設管理運営について】
・施設、設備の保守等については問題なく実施されていると認められる。
・備品の管理においては、管理台帳等は整備し、機器のメンテナンスにより、施設維持の向上に取り組んでいる。引き続き予防保全に努められたい。
・職員の研修についても、様々な分野の研修に参加させ、スキルアップに積極的であると見受けられる。引き続き努められたい。
・緊急時の対応については、ゆめニティまつばら全体の対応に準じた取り扱いとなっており、引き続き訓練等を実施し、緊急時の場合の円滑な対応に努められたい。
・自主事業について、施設の特徴を生かした事業を展開し努力しておられるがコロナ禍で事業が中止になったり計画通りに実施できなかった事が残念である。引き続き、情報発信の拠点施設として、事業展開に努められたい。

【指定管理者の経理について】
・コロナ禍で事業が開催できなかったが、自主事業は黒字である。今後の運用経費を蓄えることも重要であるが、市民に還元できる事業展開を期待する。